

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第13号

第13週(3月24日～3月30日)

発行年月日:平成15年(2003年)4月4日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	127	6	693
	パラチフス	0	0	7	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	105	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	1	119	6	453
	エキノкокクス症	0	0	4	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	216	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	27	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	22	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	196	6	888
	ツツガムシ病	0	1	30	0	329
	梅毒	0	1	107	4	561
	破傷風	1	1	15	0	105
	レジオネラ症	0	0	34	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	2.92	2.91	3.40	0.71	2.13	6.00	3.29	0.67	
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.44	0	1.67	0	0	0.50	0.50	0	
感染性胃腸炎	4.31	9.71	5.83	2.25	3.20	1.50	1.00	0	
水痘	1.25	1.57	1.50	0.50	1.00	2.50	0.75	0	
手足口病	0.09	0.43	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.25	0	0	0.25	0.20	0.50	1.00	0	
突発性発疹	0.72	1.00	0.83	0.75	0	0.50	1.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.47	0	0.67	0	0	0.25	2.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	1.00	0	0	0	1.00	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

定点当たり患者数

0 2 4 6 8

3)今週のトピックス

重症急性呼吸器症候群(SARS)の国別発生状況

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、水痘、伝染性紅斑および突発性発疹の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎等の定点当たり患者数は減少しています。

水痘については、彦根保健所管内の定点当たり患者数が増えています。

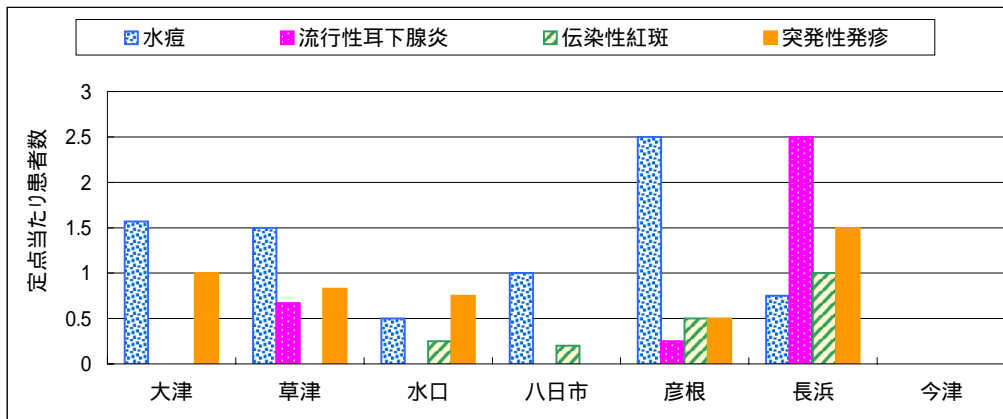
伝染性紅斑については、長浜保健所管内の定点当たり患者数が増えています。

突発性発疹については、長浜保健所管内の定点当たり患者数が増えています。

流行性耳下腺炎については、先週と比較すると定点当たり患者数の変化は認められませんが、今週は、長浜保健所管内の定点当たり患者数が増えています。

水痘、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑および突発性発疹保健所管内別発生状況は下記のグラフのとおりです。

各疾患の保健所管内別発生状況(平成15年第13週)



重症急性呼吸器症候群(SARS)の国別発生状況

-世界保健機関(WHO)集計より、4月3日現在-

国	累積症例数	死亡数	現地での感染
オーストラリア	1	0	無
ベルギー	1	0	無
ブラジル	1	0	無
カナダ	62	6	有
中国	1190	46	有
香港	734	17	有
台湾	14	0	有
フランス	3	0	無
ドイツ	5	0	無
イタリア	3	0	無
アイルランド共和国	1	0	無
ルーマニア	1	0	無
シンガポール	98	4	有
スイス	2	0	無
タイ	7	2	無
英国	3	0	無
米国	85	0	確認中
ベトナム	59	4	有
計	2270	79	

累積症例数: 死亡数を含む

2003年4月2日現在、18カ国/地域から累積で2,223例の症例と78例の死亡例の報告があり(最新情報は

<http://idsc.nih.gov/jp/others/urgent/update.html>参照)、感染様式として空気感染の可能性も危惧されています。

また、当初関連不明とされていた中国広東省の異型性肺炎の多発もSARSに含まれると考えられるようになってきています。

病原体については不明ですが、パラミクソウイルスあるいはコロナウイルスが有力な候補としてあげられています。

重症急性呼吸器症候群(SARS)の症例定義

-世界保健機関(WHO)の症例定義より抜粋-

【疑い例】

2003年2月1日以降に以下のすべての症状を示している者

・38度以上の急な発熱

・咳、息切れ、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たしている者

・原因不明の重症急性呼吸器症候群の発生が報告されている地域へ旅行した者

・原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例を看護・介護するか、同居しているか、近距離で接触するか、患者の気道分泌物、体液に触れた者

【可能性例】

疑い例であって、

胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示している者

または

原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示している者

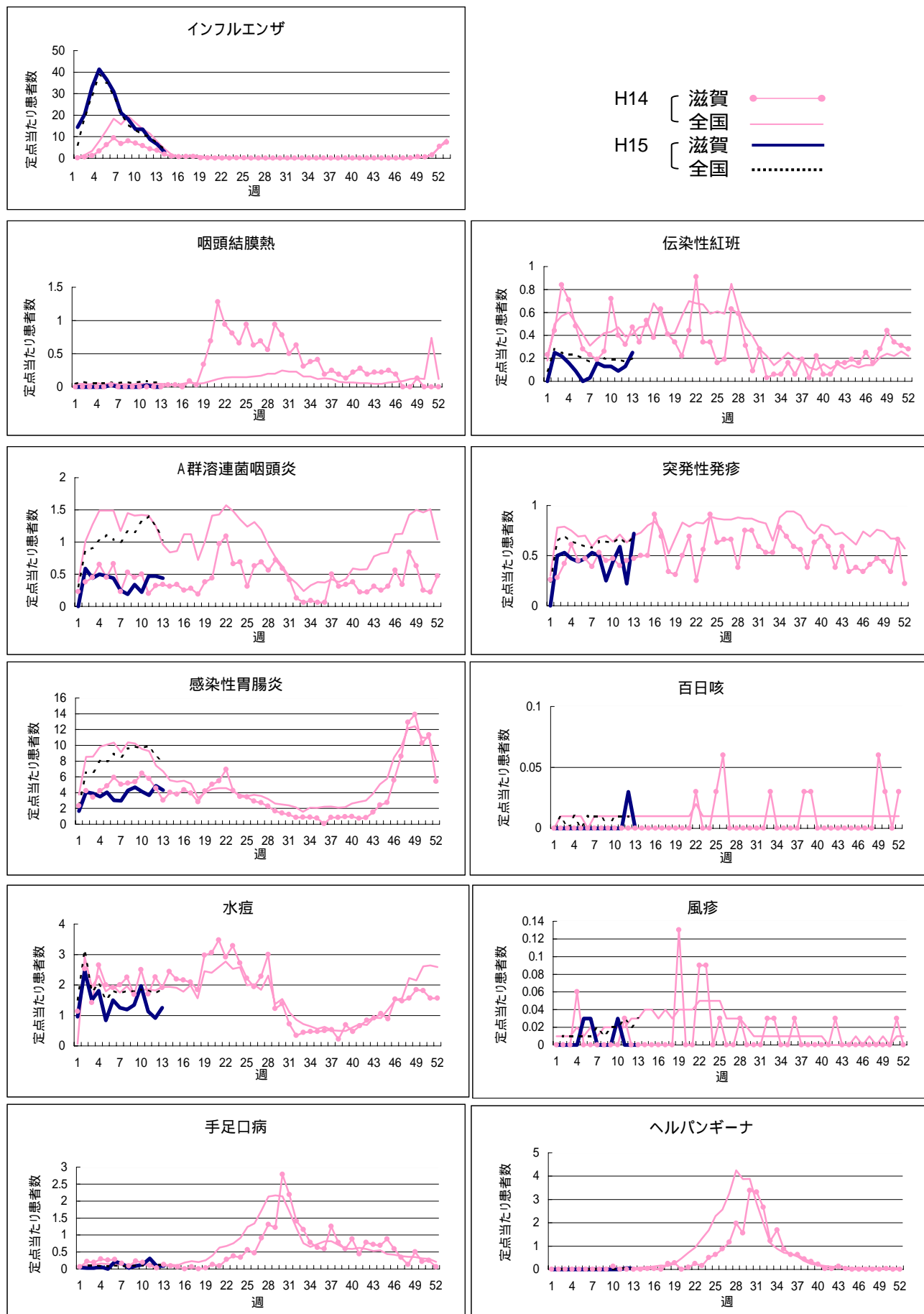
* 重症急性呼吸器症候群は、発熱、呼吸器症状に加え、頭痛、筋硬直、食欲不振、倦怠感、意識混濁、発疹、下痢等の症状を伴っている。

日本における報告状況(平成15年4月3日現在)

-国立感染症研究所感染症情報センターのHPより-

疑い例が14例、可能性例が3例報告されていますが、いずれも症状が安定しており、厚生労働省は「現時点ではSARSの可能性は低い」とみています。

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第13週)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第13週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●●●●●
 全国 ○○○○○○○○○○○○○○○○○
 H15 〔 滋賀 —————
 全国 ……………

